

科学と社会委員会 市民と科学の対話分科会（第一回）
議事録（案）

1. 日時 : 平成30年2月1日（木）17:00～18:00
2. 場所 : 日本学術会議5A-1 会議室
3. 出席者: 遠藤委員、平井委員、高橋委員、所委員、江守委員、中村委員
(事務局): 糸川参事官、高橋参事官補佐、石尾専門職付、大澤専門職付

(1) 役員の決定

- 委員の互選により以下の通り選任された。

委員長 遠藤薫

副委員長 平井みどり

幹事 江守正多

(2) 市民との対話をするために何をするのがよいか

- これまで、サイエンスカフェおよび「知の航海」シリーズ（岩波ジュニア新書）の出版を行っていた。
- 「知の航海」について、岩波書店から終了を示唆されており、「知の航海」分科会も今期は設置されない。
- 「知の航海」の継続を目指すか否かについて審議を行った。中高生向けの書籍の出版には重要な意義を認める一方で、執筆の熱意のある書き手を見つけるのが難しいこと、社会の「本離れ」、といった課題が指摘された。
- ネット記事のシリーズを企画することも一案として挙げた。
- 本議題は継続して検討することとなった。

(3) サイエンスカフェの地方開催の強化

- ボトムアップで地方開催の企画が上がってくることは期待できず、前期は須藤委員長の多大な努力により地方開催を増やしていたと認識。（高橋委員）
- 各地区会議（関東を除くと6地区）から本分科会に委員を追加することが検討された。しかし、全地区からの委員の追加は定足数等の問題を考えると難しい面があるため（事務局）、委員構成は現状のままとし、各地区会議に協力を依頼する（分科会への参考人出席を含む）こととした。

(4) サイエンスカフェの東京開催について

- 従来のやり方を踏襲する場合、年間6回、奇数月に開催（間隔が開けば偶数月も可）。本分科会の委員（6名）が各1回企画する。

- 文科省の協力が以前は得られていたが、テーマに難色を示されるケースがあったように、現在は文科省と独立で開催している（事務局）。文科省の協力が再び得られるように、遠藤委員長から働きかけることとした。日本科学未来館との連携を期待する。
- 開催場所について、日学の会議室はカフェの雰囲気に適さないという指摘があった。一階ロビーが使用可能か確認する（事務局）。また、近隣施設の利用を含めて、今後幅広く検討することとした。ただし、予算および日学事務局のサポートの制約を考慮する。
- 従来、高齢者男性、リピーターが多いと認識。どういう層に来てほしいのか、そのためにどんな工夫が必要かなど、今後の在り方について改めて検討することとした。
- 3月の開催はペンディングとする。

（５） その他

- 次回分科会は3月16日（金）16：00－18：00に開催。
- 関係者をできるだけ招く（前期の須藤委員長ほか）。
- それまでに適宜メール等で議論することとした。

以上